

見本

令和6年度

経済学部

帰国生徒選抜

総合問題題

注意事項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は、1ページから5ページにわたっています。
- 3 解答用紙は2枚、下書用紙は2枚です。
- 4 問題用紙、解答用紙、下書用紙に不備がある場合は、直ちにその旨を監督者に申し出てください。
- 5 すべての解答用紙の所定の欄に、受験番号を記入してください。
- 6 解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入してください。解答用紙の所定の欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としません。
- 7 試験終了後、問題用紙と下書用紙は持ち帰ってください。

実施年月日  
-5.11.29  
富山大学

【問題1】次の文章を読んで、[設問1]から[設問4]に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

現代の規範的（注）平等論では、運の平等主義と呼ばれる立場が有力である。運の平等主義によれば、個人のコントロールが及ばない運に基づく不平等は不正であり、是正しなければならない。例えば、先天性の疾患のせいで相対的に貧困になることは不正であり、医療費を公的に支援するなどして、格差を是正しなければならない。このように、運に由来する格差の是正を要求するのが、運の平等主義である。

ただし、すべての偶然的な格差を是正すべきだというわけではない。例えば、ある人が（競馬の）有馬記念で、大穴一点狙いで100万円つぎ込んだとしよう。レース結果の完全な予想が不可能である以上、賭けに勝つか負けるかは運である。当たっても外れても、馬券を買わなかつた人との間で運による格差が生じる。だが、運の平等主義はこの格差の是正を要求しない。格差が馬券を買うという選択に基づいているからである。これに対して、<sup>いんせき</sup>隕石に当たってケガをすることで生じた格差は、本人の選択に基づかないでは是正すべきである。運の平等主義は、運を「自然の運」と「選択の運」に区分する。本人に帰責できない「自然の運」に基づく格差は是正すべきだが、「選択の運」に基づく格差は本人が甘受すべきである。

運の平等主義は、台風の被害に対して、次のような含意を持つ。台風に遭遇することは自然の運だとしても、台風の被害に遭うことは選択の運である。台風に備えた事前の対策がありえたし、金銭的被害について損害保険に加入しておくことができたからである。保険は自然の運を選択の運へと接続する。保険に加入できるとき、加入した人と加入しなかつた人の間で格差が生じる。だが、こうした格差は選択の運に由来するので、是正すべきだとはいえない。つまりは、自己責任である。

しかしながら、この結論は被害に遭った人に過酷ではないか。運の平等主義を批判する論者が訴えるのは、まさに自然災害の被災者の事例である。台風・洪水・地震といった自然災害が予想されるときに、そのリスクの高い場所に居住し、その結果として実際に被害に遭った人は、リスクの低い別の場所に居住していれば、被害を避けられたはずである。どこに居住するかは選択である。しかも、不動産の取得価格や賃貸価格は、リスクを反映していることが多いだろう。こうしたことからすると、①運の平等主義は被災者支援を否定することになるが、それは被災者に対して過酷ではないか。

運の平等主義からの理論的帰結に反して、被災者に対する支援は現に行われている。例えば、阪神・淡路大震災を契機として作られた被災者生活再建支援制度では、自然災害によりその生活基盤に著しい被害を受けた者に、被災者生活再建支援金が支給される。住宅が全壊し建設するときには、300万円の支援金が支給される。その支給は、被災者が高リスクの土地に住んでいた否か、事前に保険に加入するなど対策していたか否かとは無関係である。

こうした被災者支援制度を持つ日本国民は、自然災害による被害を、運の平等主義がいう「選択の運」によるものだとは捉えていない。被災者本人に被害に対処する選択の余地があったとしても、である。自然災害による被害はまさに「自然の運」によるものであり、それが人生の基本的な部分に対して及ぼす負の影響は是正されるべきだと考えている。選択の運と自然の運の区別は、②ここでは無効化している。いざれにしても偶然は是正されるべきものとして、否定的に評価されている。

偶然の契機をデモクラシーに組み込むくじ引き民主主義が、現在の規範的民主主義論において、盛んに議論されるようになってきている。

(・・・・中略・・・・)

ここで、被災者支援とくじ引き民主主義を対比してみよう。災害の被害について、わたしたちは偶然を否定的に評価している。生活基盤が偶然に翻弄されるのを排除すべく、被災者支援を制度化している。これに対して、くじ引き民主主義は、民主主義にくじという偶然の契機を導入することを肯定的に評価する。選挙で示される有権者の民意よりもくじの偶然のほうが民主主義にふさわしいと捉えている。このように偶然に対して、一方で否定的な態度を取りつつ、他方で肯定的な態度を取っている。偶然に対する③二つの態度は矛盾しているように見える。偶然は排除すべきなのか、それとも活用すべきなのか。偶然は悪なのか、善なのか。

この矛盾を解く一つの方法は、偶然に対する否定的態度を徹底し、くじ引き民主主義を拒絶することである。重要な事柄に関わる公共的決定からは、可能な限り偶然の要素を排除すべきである。代表の選出は、抽選ではなく選挙によって行うべきであり、選挙が抽選にとつて代わった民主主義の歴史は、人類の輝かしい進歩である。このように論じることも不可能ではない。

だがこれは、矛盾を解く唯一の方法ではない。もう一つの方法は、二つの態度をいざれも「恣意性への抵抗」として理解する。

被災者支援は恣意性への抵抗である。確かに、台風の被害に対して個人がなしうる対応策がないわけではない。金銭的被害を軽減するために、各種保険に加入するという選択も可能である。だが、そうした事前の備えをしなかった人の中で、台風の進路のおかげで台風の被害を運良く免れた人も大勢いる。同じような他の人が被害を免れているにもかかわらず、ほかでもない私がなぜ台風の被害に遭うのか。こうした実存的な問い合わせが示すように、台風の被害には常に偶然がつきまとう。また、各個人の選択自体が偶然に彩られている。台風の被害を深刻に考える機会があれば、被害を軽減する方策が十分周知されていれば、被災者は対策を徹底したかもしれない。選択それ自体が別様でありえた。この意味での偶然も払拭できな

い。このように台風の被害は、被災者個人のうちに十分な「根拠を持っている」とはいえない。偶然によって生活基盤に著しい損害を受けることは道徳的にみれば恣意的であり、こうした恣意性に抵抗すべく支援を行うというのが、被災者支援の哲学である。

くじ引き民主主義も恣意性への抵抗である。投票率の低い選挙では、選挙結果が民意であるとは言い切れない。それはあくまで、一部の有権者の恣意に過ぎない。しかも、業界団体や組合は、自らの代弁してくれる特定の候補者を支援する。当選した候補者は、支援を受けた団体の特殊利害を強く考慮しがちになる。つまり政治において、特殊な意思が反映されやすくなってしまう。くじ引きを使えば、だれが選出されるか分からぬいため、特殊な意思が反映される余地がなくなる。④くじ引き民主主義は、代表選出を偶然に委ねることで、政治から恣意性を排除しようとする試みである。

[注] 「規範的」とは、経験科学と比較して理論的な、という意味を持つ言葉である。その言葉は、ものごとがどうあるのが望ましいかを解明することを目指す言葉である。実際の事象がどのようなものであるか、あるいはどのようなメカニズムでそのような事象が起きているかということの解明を目指す実証的という言葉とはアプローチが違うのが、規範的という言葉がもつ意味である。なお、本注は作問者がつけたものである。

[出典] 瀧川裕英「偶然に対する態度」『法律時報』91巻13号（2019年）1-3頁。なお、問題作成にあたり、文章・見出しなどを一部修正・加筆・削除した。

[設問1] 下線部①について、どのような理由によって「運の平等主義は被災者支援を否定することになる」のか、説明しなさい。

[設問2] 下線部②の「ここでは無効化している」とは、どのようなことを指すのか、説明しなさい。

[設問3] 下線部③について、その矛盾しているとされる内容を説明しなさい。

[設問4] 下線部④について、なぜ政治から恣意性を排除しないといけないと考えたのか、その理由を述べた上で、恣意性を排除したくじ引き民主主義の是非について、あなたの意見を述べなさい。

【問題2】次の文章を読んで、[設問1]から[設問4]に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

Efforts by the international shipping sector<sup>\*1</sup> are vital to reducing greenhouse gas<sup>\*2</sup> emissions<sup>\*3</sup>. Japan, which is highly dependent on trade, needs to take the initiative in global discussions on this issue and contribute its technological expertise<sup>\*4</sup>.

The International Maritime Organization (IMO)<sup>\*5</sup>, a specialized agency of the United Nations, has set a new goal for international shipping to reach net-zero<sup>\*6</sup> greenhouse gas emissions by around 2050.

The initial target was that emissions “should be reduced by at least 50% by 2050 compared to 2008.” ①The new goal is a significant increase.

Shipping accounts for 90% of global trade. The amount of greenhouse gas emissions from international shipping is equivalent to that of Germany. Emissions are expected to increase in the future as trade volume expands.

As an island nation, Japan has a large responsibility to play in decarbonizing<sup>\*7</sup> its shipping industry, as almost 100% of its trade volume is transported by sea. Japan led the way in raising the goal this time, and all 175 IMO members agreed. ②Japan's leadership is commendable<sup>\*8</sup>.

For the time being, it is assumed that fuel will shift from heavy oil, which emits<sup>\*9</sup> a large amount of carbon dioxide (CO<sub>2</sub>)<sup>\*10</sup>, to liquefied natural gas (LNG)<sup>\*11</sup>. But in the future, “③zero-emission ships” that use such fuels as hydrogen and ammonia<sup>\*12</sup>, which emit no CO<sub>2</sub>, will become essential.

In Japan, the government has decided to provide ¥35 billion over 10 years to support the development of zero-emission ships.

However, ammonia and hydrogen are currently more expensive than heavy oil, and that will lead to higher costs for international shipping.

Japan has proposed the establishment of a mechanism to charge ships that use fossil fuels<sup>\*13</sup> such as heavy oil, to cover the fuel costs of zero-emission ships. Effective measures must be taken to promote the introduction of ④such a mechanism while gaining the understanding of countries around the world.

[注]

\*1 international shipping sector 国際海運部門

\*2 greenhouse gas 温室効果ガス

\*3 emission 排出

\*4 expertise 専門知識

\*5 International Maritime Organization (IMO) 国際海事機関

\*6 net-zero 実質ゼロ

\*7 decarbonize 脱炭素化

\*8 commendable 称賛に値する

\*9 emit 排出する

\*10 carbon dioxide (CO<sub>2</sub>) 二酸化炭素

\*11 liquefied natural gas (LNG) 液化天然ガス

令和6年度 経済学部 帰国生徒選抜 問題用紙

\*12 ammonia アンモニア

\*13 fossil fuel 化石燃料

[出典] “Japan Must Take Lead in Efforts to Decarbonize International Shipping,” Yomiuri Editorial at *The Japan News By The Yomiuri Shimbun*, August 14, 2023 (<https://japannews.yomiuri.co.jp/editorial/yomiuri-editorial/20230814-129563/>) より抜粋。なお、問題作成において、文章や語句などを一部省略・修正した。

[設問1] 下線部①は、具体的にどのようなことであるか、日本語で答えなさい。

[設問2] 下線部②について、日本はなぜリーダーシップをとる必要があるか、本文に即して日本語で答えなさい。

[設問3] 下線部③の優れた点は何か、また下線部③が抱える課題は何か、本文に即してそれぞれ日本語で答えなさい。

[設問4] 下線部④は、具体的にどのようなことであるか、日本語で答えなさい。

見  
本

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和6年度 経済学部 帰国生徒選抜（総合問題） 解答用紙

(2枚中1枚目)

【問題1】

[設問1]

---

---

設問1  
得点

[設問2]

---

---

---

設問2  
得点

[設問3]

---

---

設問3  
得点

[設問4]

---

---

---

---

設問4  
得点

総得点

見  
本

受験番号								
------	--	--	--	--	--	--	--	--

令和 6 年度 経済学部 帰国生徒選抜（総合問題）解答用紙

（2枚中2枚目）

【問題 2】

[設問 1]

---

---

---

設問 1  
得点

[設問 2]

---

---

設問 2  
得点

[設問 3]

優れた点

---

---

設問 3  
得点

課題

---

---

設問 3  
得点

[設問 4]

---

---

設問 4  
得点

総得点

見  
本

下書用紙

見  
本

下書用紙